



# ピーコック通信



朝夕の寒気が身にしみる時節となりました。コロナも第8派の様相で、幼児・児童のクラスター発生も聞かれるようになりました。そんな中、面会制限の一部解除が行われ、ご家族と入院患者様のお声が病棟で聞かれるようになっていきました。患者さんの安全を守りながら、ご家族とのコミュニケーションの機会が得られ、健康の維持増進につながるよう、看護職としての役割を果たしていきたいですね。

今月のフォローアップ研修は「意思決定支援」。ラダー5の先輩方に講義をしていただきました。

①意思決定支援とは何か理解できる②意思決定支援における倫理的配慮を理解できる③意思決定支援に関わるチーム医療を理解できる④ACPについて理解できる。を目的に講義を受けた後、意思決定支援が必要な症例を用いて、看護職としてどのような関わりができるのか、グループワークで話し合いました。

**患者さんにとっての最善は何か、患者さんの意向は何か、それはなぜか？**  
**人生において大切にしていることは何か？倫理的配慮も必須です。**  
**患者さんの話をよく聴くこと・・・大切です。**



「患者さんの希望や思いは何か？」日々の看護の中で、ピーコックとともに話し合ってみてください。看護観や倫理観を養う大切な関わりとなります。

ラダー1・ピーコックの「意思決定を支える力」は到達目標を以下のように設定しています。指導の参考にしてください

<b>④ 意思決定を 支える力</b>	<b>【④の目標】</b>	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知り、適時的確にリーダーに報告・相談できる
	<b>【行動目標】</b>	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる <input type="checkbox"/> アドボカシーの概念を理解する(倫理) <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々に寄り添う事ができる <input type="checkbox"/> 自己の行動を振り返る事ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いを知り、リーダーに報告できる